

防草シートと苔を縫い合わせる機械を導入し、 『防草緑化一体化シート』の生産体制を整える



株式会社皆建

📍 新潟県胎内市若松町4-12

☎ 0254-43-5849

🌐 <https://www.i-kaiken.co.jp/>

■ 職別工事業

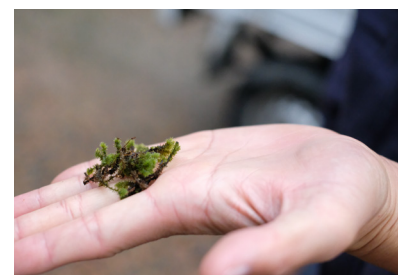


会社WEBサイト

私たちについて

苔を使った緑化事業も行う 建築・不動産屋

1974(昭和49)年に皆川建築店として創業し、1989年に株式会社皆建を設立。現在は家造りやリフォーム、土地・建物購入を行う「建築・不動産事業」、苔を使った道路緑化材を製造販売する「緑化事業」、マコモダケを生産販売する「生産事業」の3事業を行っている。



きっかけ

防草シートと苔を組み合わせ、 道路の緑化材を開発

中央分離帯や沿道にある緑地帯。緑化された道路は美しく、コンクリートだらけの視界に彩りを与えてくれる存在だ。しかし、草はすぐに伸びるため定期的に草刈りをしなければならず、手間も金銭的負担もかかる。そんな課題を解決しようと皆建が開発したのが、防草シートの表面に苔を育成した『防草緑化一体化シート』だ。防草と見た目のきれいさを両立できる商品となった。苔は背丈が伸びず、水やり等の管理も不要。また、紫外線を遮り、シートの劣化を防ぐ効果もある。こうした機能を持つ『防草緑化一体化シート』は、行政が管理する中央分離



帯や法面、駐車場脇の一带などに使用され、少しずつ需要も高まっていた。しかし、シートの製作はすべて手作業。手間がかかる上に継ぎ目が多く、防草効果が劣る結果になっていた。

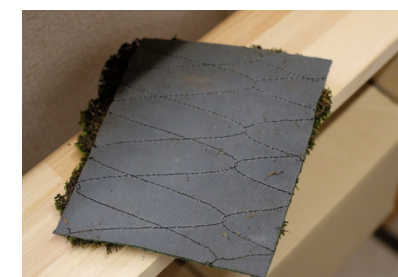


取組の内容

長尺でのシート製作で 効率化と質の向上に成功

『防草緑化一体化シート』は、防草シートの上にスナゴケを撒いて、その上に苔が飛ばないようにネットを敷き、縫い合わせる。以前は、1m×2.5mの長方形のシートをいくつも作り、繋ぎ合わせて必要な大きさのシートを作っていた。そこで、ものづくり補助金を活用し、一度に

1m×25mのシートを縫える加工機を導入。それまでは100平方メートルの注文が入った場合、40枚防草シートを製作し、繋ぎ合わせる必要があったが、新しい加工機では10枚作って、4枚繋ぎ合わせるだけでよかった。加えて、短いシートを縫い合わせていたため、シートの間には縫い目が多数あったが、それがなくなったことで強度も上がった。質にムラが出てしまっていた手縫いに比べ、機械化をすることで質の安定と向上にも成功。また、手間をなくした分、製品単価を下げることが可能になり、量産体制を整えられた。



その後の展開

防草シートを改善し、 行政への営業活動を開始

『防草緑化一体化シート』は、交通量の激しい中央分離帯や緑地帯、雑草による視界不良で交通事故が起こり得る場所など、除草に危険が生じたり、交通障害が起こる場所での活用など、行政の需要は高い。自然の雨水と日光でゆっくりと育つため、剪定作業の必要がないことも利点だ。また、シートはリサイクルできる不織布50%を使用、苔栽培は耕作放棄地を活用したりと、環境問題にも貢献。行政に伝えられるメリットは多数ある。実績として、新潟県内だけでなく、青森県や福島県、福岡県の行政からの受注実績もある。しかし、現在はお客様からミシンの穴から雑草が生えてきたと指摘を受け、基盤シートを改良中だ。問題が解決次第、今後は全国展開を見据え、市場調査や営業活動に力を入れる予定だ。

message

胎内市や南魚沼市など雪深い場所でも使っていただいています。未だに崩れた話は聞きません。今後は利点をしっかり伝えながら販路を広げていきたいです。

緑化事業部 部長 新出倫規 氏

